

上里町長 山下 博 一 様

上里町議会議長 飯 塚 賢 治

令和8年度予算等に関する提言書

令和7年9月定例会において決算特別委員会を設置し、令和6年度決算審査を実施しました。当該審査においては、来年度における適切な予算編成や事務事業のあり方についても議論されたところです。

つきましては、令和8年度の予算編成並びに今後の事務事業等に反映するよう、下記の事項について提言いたします。

記

- 1 経常収支比率が 96.6%となり、財政構造の弾力性が失われつつある。事業費においては、補助金や交付金を有効に利用し、将来にわたって財政の健全性を維持できるよう事業の実施に取り組むこと。また、人件費においては、人員の適正配置に努めること。
- 2 「神保原駅周辺の開発と駅舎の建替えに関する要望決議」を令和2年3月23日上里町議会において決議しているところである。しかし、駅北まちづくり事業における神保原駅橋上化に関して、令和6年12月の全員協議会では半橋上化に約20億円かかると説明を受けた。建設資材の高騰や令和6年度の経常収支比率も上昇し財政状況が悪化している中、費用対効果も考え、東通り線の整備も含め、将来の財政状況を考慮しながらどの事業を優先していくのかを十分検討し、事業を実施すること。
- 3 空き家については防犯面や町の景観面からも対策が必要である。「埼北空き家バンク」への相談は年2件と低迷しており、啓発チラシの配布や公民館での相談会の実施、また講演会を開催するなど、空き家所有者の抱えている問題を把握し、抜本的な解決を図るための検討をすること。
- 4 保健センターの保健師が令和6年度と比べ退職等で約4名減との事で、保健師の確保と定着が課題である。保健師が不足すると実施出来ない事業もあり保健センターの運営が滞ることが懸念される。また、新しい保健センターが稼働すると一時的に業務も増えると考えられるので、保健師人材を早急に確保すること。